

# 大分大学公開授業案内

大分大学は、日々の教育・研究・医療の成果を地域社会に還元して、地域との連携・共存を図り、その発展に貢献することを目指して、大学開放事業に取り組んでいます。公開授業もその事業の一つです。公開授業は、決められた曜日・時限に開講される通常の授業を、学生と一緒に受講するものです。みなさんの知的好奇心を満たすべく多彩な授業を公開しておりますので、この機会に是非ご応募ください。

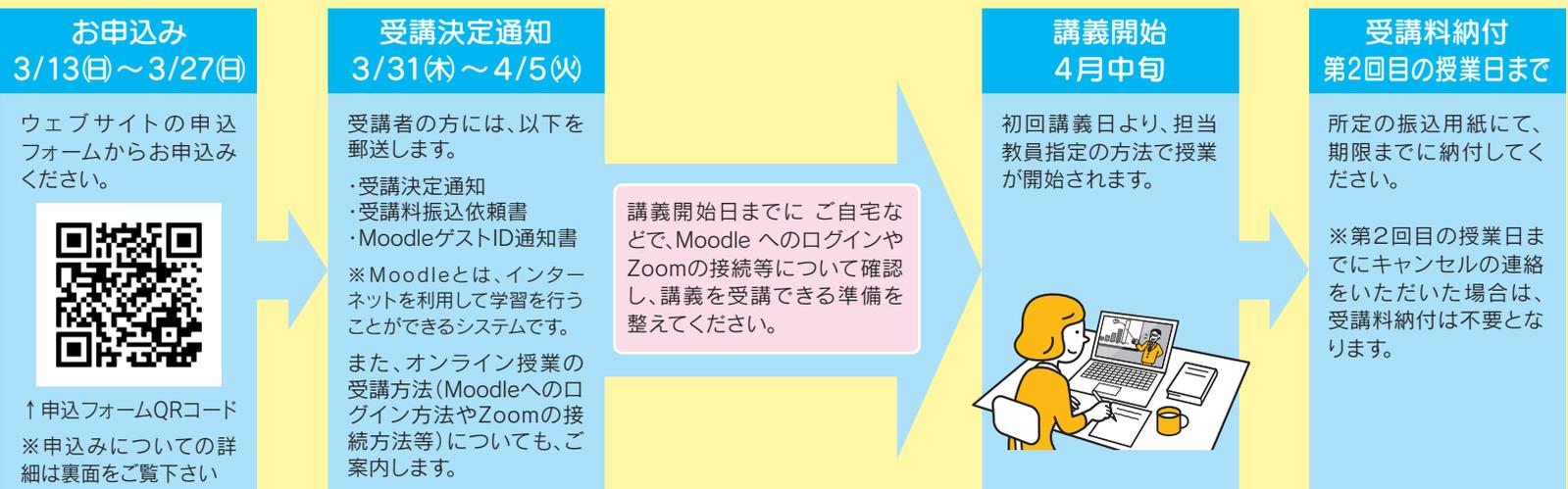
## 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、 今期はオンラインで実施する授業のみ公開します。

大分大学教員が担当する正規の講義のうち、自宅などからパソコン等を使って受講するオンライン授業に限り、地域の皆様へ開放します。

### ●オンライン授業を受講していただくには、次の4つの条件を満たしている必要があります。

1. インターネット環境が整っていて(データ通信料は無制限が望ましい)、電子メールの送受信ができる。
2. 講義の時間帯にインターネットに接続して使用できるパソコンやタブレット端末がある(スマートフォンの使用は推奨しない)。
3. パソコンの基本操作ができる(文字入力・添付ファイルのダウンロード・インターネットの検索など)。
4. 受講に当たってのルール(<https://www.he.oita-u.ac.jp/open/>)を順守できる。

### ●お申込みの流れ:



**開設期間** 令和4年(2022年)4月12日(火)～令和4年(2022年)8月2日(火)

**対象者** 一般市民 ※学歴等を問わず、どなたでも受講できます。ただし、公開授業は、大分大学の学生が受講する大学の正規の授業を、学生と一緒に受講するものであるため、科目によっては予備知識を必要とする場合がございます。※お申し込みの際は、次頁「科目等一覧」にて授業概要をご確認ください。

**受講料** 1科目につき、14回～15回:9,638円、11回～13回:8,591円

※令和2年度(2020年度)前学期～令和3年度(2021年度)後学期の間に受講した科目と同一科目を再受講する場合は受講料が半額となります。該当する方は、申込時に再受講である旨をご記入ください。※国際健康コンシェルジュ養成講座は無料です。

**申込締切** 令和4年(2022年)3月27日(日)

各授業の定員は10名です。ただし、科目によって別途定員を設けている場合がありますので、次頁「科目等一覧」の「授業概要」部分の記載をご確認ください。受付は先着順とし、定員になり次第締め切ります。定員に満たない科目については、受付期間を延長する場合があります。

**問合せ先** 大分大学教育マネジメント機構基盤教育センター(事務担当:学生支援部教育支援課)

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 TEL: 097-554-7641(受付:平日9時～17時)  
ホームページ: <https://www.he.oita-u.ac.jp/> E-mail: [kyokikss@oita-u.ac.jp](mailto:kyokikss@oita-u.ac.jp)

### その他

- ◎曜日、時限(時間)は都合により変更する場合があります。また、受講者数が少ない場合は不開講とする場合があります。
- ◎正規の授業科目ですが、公開授業では学期末試験は受講不可で単位の認定は行いません。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、授業実施方法が対面授業に変更となる場合があります。その場合、授業が取りやめになる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

# 令和4年(2022年)度

1時限 = 8:30 ~ 10:00    2時限 = 10:10 ~ 11:40    3時限 = 13:10 ~ 14:40    4時限 = 14:50 ~ 16:20    5時限 = 16:30 ~ 18:00

※授業によっては、ご自身のパソコン等から資料を印刷していただく事もあります。別途、教科書の購入が必要な科目もあります。

No.	曜日	時限	区分	授 業 科 目	授 業 概 要	回 数	学部・職名	担当教員
1	集中講座		教養	国際健康コンシェルジュ養成講座	<p>日本を訪れる外国人数は年々増加傾向にあり、今後もこの傾向は継続すると思われます。そこで本授業では、突発的な病気等で困っている訪日外国人を助けることができるように、病気等の症状を確認する基本的な英語・中国語表現と、疾患の重症度を判断できる基本的な医学知識、および感染症に対する基本的な知識とその予防法を学びます。(海外旅行がお好きな方や今後留学予定の方にも役に立つ内容です。)(定員20名) ※大分大学公開講座講習料規程第2条第3項により受講料は無料です。 ※3日間の日程で開講します。授業時間帯は他科目と異なります。詳細が確定後、改めてご案内を送付しますので、興味のある方はお申し込みください。</p>	8回 (7月2日、 7月3日、 7月9日)	医学部 准教授	大下 晴美 ほか
2	月	2	教養	中世イタリアの生活史Ⅱ	<p>中世（ここでは8～15世紀頃を中心に）のヴェネツィア共和国とアドリア海沿岸の諸都市の人々の暮らしを取り上げます。国際商業都市として繁栄したヴェネツィアは、イタリア・ルネッサンス文化の展開の一翼も担いました。干潟に浮かぶ都市ヴェネツィアの生成と発展の歴史をたどりながら、環境が規定するエコシステムとしての中世社会像について考えます。(ヴェネツィアは、現在、21世紀にも持続可能な観光という課題に悩んでいます。一緒に考えましょう。)</p> <p>【オンライン受講に関する条件等】ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる</p>	15回	経済学部 教授	城戸 照子
3	火	1	教養	生命観の変遷	<p>生きているとは、死ぬとは、病気とは。命への疑問に対して、かつて人々は「魂」「霊」「神の力」などの仕業だと説明しました。このような考え方は、現代の自然科学では否定されますが、歴史的背景や文化などで視点を変えると、ある種の合理性が見えてきます。それはまた、現代社会への問いかけにもつながります。この授業では生命観の移り変わりをテーマとして、古代ギリシャから20世紀までの生物学を振り返ります。</p>	15回	教育マネジメント機構 教授	牧野 治敏
4	火	1	専門	経営史	<p>企業経営の歴史について学ぶ授業です。経営史という学問について把握し、日本の産業や企業経営の歴史を一緒に考えていきます。モノやサービスなどがどう創りだされ、提供されてきたのか、それによる利潤はどう追求されたのかなど、企業家や経営者、企業による意思決定や活動内容をもとに考察していきます。渋沢栄一や松下幸之助、トヨタや日立製作所など具体的事例も交え説明します。(企業経営の歴史を確認し、これからの産業社会のあり方を一緒に考えてみませんか?)</p> <p>【オンライン受講に関する条件等】ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる</p>	15回	経済学部 教授	渡邊 博子
5	火	2	教養	日本語文法分析	<p>普段意識することのない日本語文法を言語学の観点から観察し、問いを立て、検討します。また、他言語との比較により、日本語の持つ文法的特徴を分析し、考察します。これらの作業を通じて、日本語を一つの言語として深く理解していきます。本授業は留学生も受講するため、彼らとの協働学習を中心に進めます。</p> <p>【オンライン受講に関する条件等】ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる 公開授業受講生の定員は2名 Zoom による同時双方向のオンライン授業を行います</p>	15回	国際教育推進センター 講師	西島 順子
6	水	2	教養	福祉テクノロジー入門	<p>この講義では福祉に関連した工学技術に関する話題を提供し、福祉分野における機器利用・工学的手法の役割や重要性を認識してもらうことをねらいとしています。具体的には、バリアフリーやユニバーサルデザイン、福祉機器や支援技術(Assistive Technology)に関する考え方や事例、福祉工学技術に関する用語や歴史、研究概要などを紹介します。</p>	15回	理工学部 教授	池内 秀隆
7	水	3	教養	衣生活の科学と文化	<p>身近な衣生活に関係する学術的な内容を、科学と文化の両面に関わらせて3分のオリジナル動画を制作していただきます。「衣生活論」のテキストを読んで、動画にするトピックを見つけていただきます。著作権についても学びます。Moodle上において作品を発表し、受講生同士で相互評価をしてブラッシュアップしてもらいます。(基本的にオンデマンドですが、適宜 Zoom やフォーラムを使用して質疑の機会を作ります。)</p> <p>【オンライン受講に関する条件等】 PowerPoint や Keynote などのプレゼンテーションソフトウェアでスライドを作成できる PC 技能・環境と自ら学ぶ姿勢を前提とします。</p>	15回	教育学部 准教授	都甲由紀子

# 前学期公開授業科目等一覧

No.	曜日	時限	区分	授業科目	授業概要	回数	学部・職名	担当教員
8	木	1	専門	研究開発マネジメント論 I	研究開発は企業の競争力を左右する源泉として、主に製造業の分野で論じられてきました。現在では IT や観光、飲食といったサービス業でも研究開発の重要性が議論されています。研究開発を成功裡に導くためのマネジメント上の工夫について幅広い視点から、具体例を交えて考察します。(担当は実務家教員です。学生と共に学びながら大学と社会の関わり方についても考えましょう)	15回	経済学部 教授	河野 憲嗣
9	木	2	専門	異文化間コミュニケーション論	異文化間コミュニケーションを実りあるものとするために必要な能力は、英語をはじめとする外国語運用能力だけではありません。語学力に磨きをかけると同時に、文化とコミュニケーションのそれぞれの特徴を適切に理解する必要があります。本講義では、術語・理論・モデルの学習に加え、具体的な事例の検討や体験学習を通して、異文化適応力を身につけるために必要な知識や技法を学習します。	15回	経済学部 准教授	久保田 亮
10	木	4	専門	ベンチャー起業論	ベンチャー企業の起業や事業展開について学ぶ授業です。創出にかかわるアントレプレナーシップ、成長や経営の取り組みにかかわるイノベーションの歴史や本質、日米のベンチャー企業の創出動向などについて把握し、ヒト・モノ・カネ・情報といった経営資源の活用の仕方など起業のための条件や手法を具体的に考えていきます。企業の方々などにも登壇いただき、課題を深掘りします。(大分の企業の方々も交え、発展戦略や今後のあり方を一緒に考えてみませんか?)	15回	経済学部 教授	渡邊 博子
					【オンライン受講に関する条件等】 ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる			
11	金	2	専門	統計学	統計学は「科学の文法である」と表現されるように、今日の科学において重要な役割を果たしています。また、私たちの身の回りにも統計学が関わっている物事(例えば、生命保険料の計算、選挙結果の速報、ワクチンの効果の判定など)は多いです。本講義では、統計学の基礎を学ぶことで、様々な統計が出るまでのプロセスを正しく理解し、現実社会における経済事象を適切に分析・解釈することを目的とします。(入門レベルの内容なので初学者にもおすすめです)	13回	経済学部 講師	中本 裕哉
					【オンライン受講に関する条件等】 ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる			
12	金	2	教養	英語ゼミナール E : 英語運用力養成訓練 I	事前の配布資料と教員による音声解説で予習し、授業では次の活動で英語をたくさん話します。(1) 発音・音読、(2) 口頭和文英訳、(3) 自作例文交換、(4) 口頭要約、(5) テーマ会話。Zoom を使い、学生と公開授業受講者、公開授業受講者どうして話しをします。教員への質問もできます。70 歳未満で英検 2 級以上が対象です。関連情報を記入願います。教科書 Impact Issues 2 (第 3 版) で大学で販売しています。(毎年「刺激を受けて英語力が伸びた。思い切って来て良かった。」との感想をいただいています。)	15回	教育学部 教授	御手洗 靖
					【オンライン受講に関する条件等】 ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる 英語資格等について申込時に記入してください			
13	金	3	専門	都市経営論 I	都市経営(地方自治体の経営)は、現段階では NPM (New Public Management) とよばれる議論と関連付けられることが多く、市場化・民営化などの内容が議論されています。民営化の失敗も多く指摘されるなかで、住民本位の行政運営をどう実現していくか考えていきます。	15回	経済学部 准教授	高島 拓哉
					【オンライン受講に関する条件等】 ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる			
14	金	4	専門	人事システム論 I	プロジェクト・ベースの業務が増える現代のビジネス環境において、基礎となるプロジェクト・マネジメントの方法について実戦形式で学びます。教材として、オンラインゲーム『MINECRAFT』を用いて、プロジェクト・マネジメントの基礎理論に沿ってグループで成果物を作成していただきます。 ※オンラインでテレビゲームができる環境があると尚良いです。	15回	経済学部 講師	碓 邦生
					【オンライン受講に関する条件等】 ご自身のパソコン等から資料の事前印刷等ができる			

## お申込方法等

- 申込フォーム <https://www.he.oita-u.ac.jp/2022aopenlec/> からお申込みください。  
右記QRコードからもアクセスできます。(申込フォームから正しく送信された場合は、「申込完了通知」が自動で送信されます。「申込完了通知」が届かなかった場合は、表面の問合せ先までご連絡願います。)
- 電子メールに【①受講する科目名②氏名(ふりがな)③性別④年齢⑤住所⑥電話番号⑦大分大学公開授業を知ったきっかけ(新聞折込チラシ、大学ホームページ等)】を記入してのお申込みも可能です。※英語ゼミナールE:英語運用力養成訓練Ⅰをお申し込みの方は、ご自身の英語検定の級または得点、英語使用経験についてご記入ください。
- 令和2年度(2020年度)前学期～令和3年度(2021年度)後学期の間に受講した科目と同一科目を再受講する場合は受講料が半額となります。該当する方は、申込時に再受講である旨をご記入ください。
- 電話、郵送、FAXでの申込みはできません。
- 申込み多数の場合は先着順とします。受講の可否については、申込締切後1週間以内にお知らせします。  
(電子メールでお知らせし、その後、受講可の方には各種ご案内書類を郵送します。)
- 原則として、納付された受講料は払い戻しできません。
- 授業プログラムが変更される場合があります。
- 科目によっては受講料の他にテキスト代及びその他の費用が必要になる場合があります。
- 本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めるとともに、担当教員の指示に従ってください。
- 本事業は授業時間内での学習を原則としており、授業時間外での質疑等には応じかねます。  
また、成績評価に関するレポート・小テストの採点についても対応しかねます。
- 受講にあたっては正規学生の学習の妨げにならないよう、ご配慮をお願いします。
- 申込時に記入いただく情報は、公開授業の実施において必要な書類(受講者名簿等)作成の他、公開講座、公開授業の案内に関する情報として利用します。
- 本学の規則に違反したとき、学校の秩序を乱したとき、その他受講生としてふさわしくない行為等があった場合は、受講を停止する場合があります。  
その場合、納付済みの受講料は返還しません。
- 申込内容に不備がある場合は、申込みが無効となる場合があります。



QRコード

QRコードはデンソーウェーブの登録商標です



※新型コロナウイルス感染症の状況により、授業実施方法が対面授業に変更となる場合があります。その場合、授業が取りやめになる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### 令和4年(2022年)度 前学期 大分大学学年暦

※現時点での予定です。

学 事	期 日	備 考
前学期授業開始	4月12日(火)	(注1)
前学期振替授業	4月29日(金)	金曜日の授業(昭和の日)
〃	7月18日(月)	月曜日の授業(海の日)
補 講 日	7月29日(金)	
予 備 日	8月 1日(月)	
〃	8月 2日(火)	

(注)

1 太字の学事日程は、標準日(期間)を示したもので、学部・研究科で異なることがある。

### 令和4年(2022年)度 前学期 学年カレンダー

※現時点での予定です。

	日	月	火	水	木	金	土	事 項
4月						1	2	12 授業開始 29 金曜授業(昭和の日)
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
5月	24	25	26	27	28	29	30	
	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28		
6月	29	30	31					
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30				
7月						1	2	18 月曜授業(海の日) 29 補講日
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
8月	31							
		1	2	3	4	5	6	1・2 予備日
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				